

7月1日「都市機構」がスタートしました。

都市機構は、前身の都市公団、地域公団が培ってきた技術やノウハウをベースにアーバン・ルネッサンス・プロデューサーとして都市再生に取り組み、みなさまとともに豊かな生活空間としての都市づくりをめざします。

- ◎ 正式名称: 独立行政法人都市再生機構
- ◎ 日本語略称・愛称: 都市機構(としきこう)
- ◎ 英文社名: Urban Renaissance Agency
(アーバン・ルネッサンス・エージェンシー)
- ◎ 英語略称: UR(ユアール)
- ◎ コーポレートステートメント:
街に、ルネッサンス
アーバン・ルネッサンス・プロデューサー

都市機構の理念

■URミッション(使命)

人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュースします。

■URスピリット(信条)

CS(お客様満足)を第一に、新たな価値を創造します。
創意工夫し、積極果敢にChallenge(挑戦)します。
力を結集し、Speedy(迅速)に行動します。

私たち都市機構がめざす理想の都市像は「人が輝く都市」です。これまで、どちらかといえば機能が優先されてきた都市は、現在、社会経済情勢の変化に対応しきれず、元気をなくしています。私たちは、このような都市を、環境や景観に配慮がなされ、また活力に満ちあふれ、何よりもその都市を舞台としてそこで活動するすべての人が生き生きと輝くことができる都市に再生することを、私たちの最終的な目標と位置づけました。都市機構は、都市再生のプロデューサーとして、民間活力を活かし、人々の生活やコミュニティの場として、人が輝く舞台となる美しく安全で快適なまちをプロデュースします。都市再生の方向は「人が輝く都市」であると考えています。



シンボルマーク

シンボルマークは「都市機構の理念」に込められた思いと約半世紀にわたる公園の信頼・信用、実績、ノウハウの承継を象徴しています。

—花は都市機構の活動ステージである「大地」さらには「日本の国土」「都市」などをトータルにイメージします。また、花が開くさまは「都市再生の実現」を表し、人が伸びをする姿勢は「その都市での心地よい快適な生活」を表しています。そして、人と花が一体となり「快適な生活環境の中でそこに暮らす人々が生き生きと輝くさま」を表現しています。—



編集後記

旧都市公団の社外報「アーバンNEXT」旧地域公団の社外報「トライアングル21」をご愛読いただきありがとうございました。新しく発足した都市機構として、ここに体裁を一新し、『ユアールプレス』を創刊することとなりました。誌名は新機構の英語略称「UR」を広く認知していただけるよう、熟慮にそして力強く表現したものです。

創刊号は「都市のルネッサンス」を特集テーマとし、日本の都市がこれから世界の都市と競い合えるものにするためにはどうすべきか、内外の知恵を事例とともに紹介し、新しい都市機構の理念と目標、そして役割を示すものとなりました。

引き続き、都市における自然のルネッサンス、人間のルネッサンス、文化のルネッサンスを特集テーマとして編集を展開する予定となっています。

ご一読いただき早速のご感想、ご意見、ご提言をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

季刊「ユアールプレス」創刊号
Vol.1(2004年8月)
発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー Tel.045-650-0881
編集・制作 (株)日本経済社(株)リブアソシエーツ
印刷 (株)アイネット

東雲キャナルコート

「どこに住みたいか」から「どう住みたいか」という新しいライフスタイルに応えて登場しました。既に運河の水辺に生まれ約16ヘクタール約6000戸旧都市公団と三菱グループ共同のビッグプロジェクトです。計画にあたってまず街づくりを検討する各界のオピニオンリーダーで構成する「まちのみ街区企画会議」を組織、そこで提案された街づくりのコンセプトを受けて気鋭の建築家や旧都市公団などのコラボレーションにより、いままで見られなかった先進的なまち景観と個性的な住戸が実現しました。



路沿いにはショップやクリニック、保育園など生活支援施設が入っています。運河ゾーン「三菱グループ」の分譲住宅「Wコンフォートタワーズ」と運河の水辺と一体的な都市計画公園を整備、アメニティ空間を形成します。晴海通りゾーン「スーパー」はじめ個性的な専門店を集約した大型商業施設を配置しています。



豊洲二・三丁目地区

この地区は、造船所跡地などにおける大規模な土地利用転換を行い、2006年のまちびらきをめざしています。都市機構は、この中で、道路、公園等の公共の整備と、民間による都市型住宅建設・供給の支援など、良好な市街地整備に向けてコーディネートを行っています。このうち、道路、公園の整備については、

湊二丁目地区

地区一帯は、震災の被害を受けず、下町らしい雰囲気を残す地域でしたが、バブル期の不動産会社による土地買収が顕著なため、空地が虫食い状に散在する状態が続いています。都市機構では、権利者の要望等に柔軟に対応した総合的まちづくりを目指し、中央区と協力して、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行手法を活用したまちづくり計画の策定や地元権利者の方の合意形成、不動産会社との調整等を行い、一日も早い地域の再生に取り組んでいます。

